

取組（提案）名	空家、空地への対応	
コミュニティ名	一中地区地域のふれあいを広める会（一中地区まちづくり市民会議）	
現状と課題	<p>全国的な傾向ではあるが、本市においても所有者が不明、不在の空家が増加傾向にあり、総務省の2008年の調査によると、空家率は13.1%となっている。</p> <p>空家は、景観を損なうばかりでなく、火災の危険、犯罪の温床にもなりかねない。</p> <p>また、空地については、市において「空き地等適性管理条例」が制定・施行されているが、所有者に罰則規程がないことなどから、現実的には適正な管理が行われているとは言い難い。</p> <p>空家及び空地の対策については、行政の果たすべき役割が大きいと考えるが、実態把握のためには、地域の協力も欠かせないものであり、地域と行政の協働により解決すべきものとする。</p> <p>1 中地区では、各自治会に依頼し空家、空地の実態調査を行い、次のような状況であることが判明した。</p> <p>1 空家 適正管理件数 127件 不適正管理件数 31件</p> <p>2 空地 不適正管理件数 31件</p>	
解決方策	上記調査結果を、市に提出。平成25年10月に市から回答を得た。市の回答結果については、該当自治会に報告した。	
役割分担	市	不適正管理物件は、市が所有者に行政指導済（指導中）
	地域（市民）	防犯パトロール時等に、不適正管理物件の掌握。必要により、行政と連携し、継続的な見守り活動を実施。
	他（事業者等）	
実施にあたっての課題等	空家等対策の推進に関する特別措置法が制定され、市町村が取り組むべきことが規定。地域住民も協議に参加するとされていることから、行政の取組みを注視したい。	

取組（提案）名	青少年非行防止、防犯ネットワークの構築	
コミュニティ名	一中地区地域のふれあいを広める会（一中地区まちづくり市民会議）	
現状と課題	<p>現在、「青少年の非行防止」に当たっては、青少年相談員、児童委員、PTA、学校、警察署、本会青少年部会などが、また、「防犯」については、防犯連絡員、青色防犯パトロール隊、保護司、自治会などがそれぞれ地域の安全・安心なまちづくりのため、積極的に活動している。</p> <p>活動状況について調査したところ、1中地区では、19団体 670人がパトロールに参加。パトロールの実施頻度は、「毎日実施」から「隔週毎に実施」まであるが「週に1度」が大半。</p> <p>しかし、現実の姿としては、それぞれがそれぞれのルールに基づき活動しており、情報の共有などの面で、必ずしも十分に機能していない部分があると考えられる。</p> <p>関係者が、それぞれの知恵を出し合い、より強固なネットワークの構築を図るべきと考える。</p>	
解決方策	<p>課題を踏まえ、平成25年7月から、これらの団体に不審者情報等をファクスで一斉送信し、情報の共有化をすることにより、これまで以上に安全・安心なまちづくりのため、活動を進めたい。</p> <p>平成25年度は、5回「不審者情報」等を関係者に送付済。</p> <p>平成26年度は、11回「不審者情報」等を関係者に送付済。</p>	
役割分担	市	情報提供の徹底
	地域（市民）	不審者情報などに基づき、パトロールを強化
	他（事業者等）	
実施にあたっての課題等	~~~~	

取組（提案）名		災害時活用マップの整備
コミュニティ名		一中地区地域のふれあいを広める会（一中地区まちづくり市民会議）
現状と課題		<p>各自主防災会内における湧水、井戸（電気、手動ポンプ、汲み上げ式）等の情報の収集を行い、住宅地図にこれらの情報を明記</p> <p>避難所 36 か所、公園 38、防災倉庫 14、湧水箇所 28、プール 5、井戸 10 被災箇所 10、狭い道 5、がけ地 12</p> <p>さらに平成 26 年度にはNHKの地図情報を活用して、当該情報を一中地区地域のふれあいを広める会のホームページに掲載した。</p>
解決方策		<p>より多くの住民が必要な情報をいつでも入手できるよう、ホームページに最新情報を更新すること。</p>
役割分担	市	
	地域（市民）	
	他（事業者等）	
実施にあたっての課題等		<p>～</p>

取組（提案）名	高齢者、子育て家庭の居場所づくり	
コミュニティ名	一中地区地域のふれあいを広める会（一中地区まちづくり市民会議）	
現状と課題	<p>急速な少子高齢社会を向かえようとしているなか、関係者への意識調査により、高齢者及び子育て家庭の居場所がまだまだ少ない現状が明らかになった。</p> <p>高齢者の居場所づくりとして、コミセンの児童室を「多世代交流室」とし、毎月、2回第1、第3月曜日に高齢者サロン（楽々亭）を開設した。</p> <p>また、就学前の乳幼児を対象に、を毎月、2回 第3、第4火曜日に子育てサロン（遊々亭）を開設した。</p> <p>（平成26年度の実績）</p> <p>楽々亭 健康体操、コミセン利用団体による絵手紙、健康相談等、その他（ボランティア3グループが交代で会費100円でカレーを作り、提供している。）</p> <p>計22回実施 延 188人 346食提供 1回平均 21.1人参加</p> <p>遊々亭 リトミック、健康相談、読み聞かせ及び手遊び等 計22回実施 1回平均 12.7組参加</p> <p>平成27年度もそれぞれ継続して活動予定。</p>	
解決方策	サロンへの参加需要は、多いと思われることから、適正管理空家物件があれば、サロンの増設が必要。	
役割分担	市	適正管理空家物件の確保及び地域への開放
	地域（市民）	
	他（事業者等）	
実施にあたっての課題等	～	